(財)財務会計基準機構会員 JASDAQ

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名　平安レイサービス株式会社　　上場取引所　JQ
コード番号　2344　URL　http://www.heian-group.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）相馬　秀行
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長　（氏名）片野　洋　TEL 0463-34-2771

四半期報告書提出予定日　平成21年11月13日　配当支払開始予定日　平成21年12月4日

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,989	△6.3	377	△20.3	442	△22.4	242	△22.5
21年3月期第2四半期	4,259	—	473	—	570	—	312	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	16.91	—
21年3月期第2四半期	21.48	—

※前四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき四半期連結財務諸表を作成しているため、前四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	27,075	10,627	39.3	742.26
21年3月期	27,223	10,475	38.5	731.63

（参考）自己資本　22年3月期第2四半期　10,627百万円　21年3月期　10,475百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	11.00	—	8.00	19.00
22年3月期	—	8.00			
22年3月期（予想）			—	8.00	16.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,321	4.2	1,321	6.0	1,431	0.7	820	3.6	56.64

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、4ページ 【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	14,667,000株	21年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	349,130株	21年3月期	349,130株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	14,317,870株	21年3月期第2四半期	14,537,325株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間における日本経済の概況は、一部に持ち直しの動きが見られますものの、先行きについては当面雇用情勢が悪化する中で厳しい状況が続くものとみられます。

経済産業省の特定サービス産業動態統計調査７月確報によりますと、平成 21 年４月から７月における結婚式場業の売上高、取扱組数は前年同期比で共に減少しています。同じく葬祭業においても売上高、取扱件数共に前年同期比で減少しています。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強・新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上及びターゲットユーザー別のコンセプト再構築等に努めてまいりました。

冠婚事業においては、邸宅型バンケットホールのコンセプトである、オンリーワンの良さを実現する為に、貸切感を生かしてサービス品質のレベルアップによる感動空間を充実させています。フロントマン訓練強化に努め、婚礼を中心に据えながら、祝儀関連売上の増進を図るとともに、ローコストオペレーションを推進するために、担当部門の垣根を越えたマルチジョブ化を強化し続けてまいりました。

施設面では当第２四半期に「コルティーレ茅ヶ崎」(神奈川県茅ヶ崎市)に全天候型ガゼボ（野外用の休憩所)「パル･デ･アンジェリーチェ」を設けました。その結果、前年同期に比べ冠婚施行組数(挙式のみ・写真のみ・一般宴会及び小規模披露宴を除く）は減少したものの、１組単価は増となり、売上高は 329 百万円（前年同期比 17.2%減少）となりました。労務効率の改善とコスト改善等に取り組んだ結果、営業費用は 305 百万円となり、営業利益は 23 百万円（前年同期比 4.6%減少）となりました。

葬祭事業においては、業界内の価格競争が激化しており、消費者の高齢化の進む中で、社会的な交際範囲の縮小と伝統的な葬儀式に対する社会意識の変化による会葬者数減少、さらには経済情勢悪化の影響もあって葬祭施行単価は減少傾向にあります。

この様な状況において当社は、「語らい偲ぶ」葬儀の原点に返り、故人様とご家族、ご会葬者を結ぶ参加型葬儀の新商品として当第 2 四半期より「花園」(意匠登録出願中)を提案いたしました。施設面では小規模の葬儀にも対応できるよう既存施設内に家族葬専用フロアを設けるなど施設の充実に努めてまいりました。また､法事件数が前年同期に比べ 79.3%増となるなど葬儀周辺売上を強化してまいりました。

その結果、葬祭事業の営業エリアにおけるシェア率は前年同期に比べ微増したものの死亡数が微減したため、連結累計期間の施行件数は前年同期並みとなりました。しかしながら前述のとおりご利用者の交際範囲の縮小と意識の変化による会葬者数減少の影響等もあって前年同期比で葬儀施行 1 件単価は徐々に回復傾向にあるものの前期並みには及ばず、前年同期に比べ減少したため、売上高は 3,227 百万円（前年同期比 6.0%減少）となりました。営業費用は省エネ改善策の実施及び外注業務の内製化に取り組みました結果 2,528 百万円となり、営業利益は 699 百万円（前年同期比 16.4%減少）となりました。

互助会事業では、売上高は冠婚・葬祭事業の施行状況に連動して 124 百万円（前年同期比 7.9%減少）となりました。営業費用は 79 百万円となり、営業利益は 44 百万円（前年同期比 14.9%減少）となりました。

介護事業では、売上高は 428 百万円(前年同期比 1.6%増加)でありました。営業費用は 398 百万円となり、営業利益は 29 百万円（前年同期比 28 百万円増加）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における、売上高は 3,989 百万円（前年同期比 6.3%減少)、営業利益は 377 百万円（前年同期比 20.3%減少）となり、経常利益は受取配当金・有価証券利息等の計上により 442 百万円（前年同期比 22.4%減少）を計上した結果、四半期純利益は 242 百万円（前年同期

比 22.5%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益は事業間の取引による金額を含みます。

また、当第１四半期連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第１四半期連結会計期間分を変更後の区分に組み替えてあります。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して 148 百万円の減少となりました。流動資産では、現金及び預金が 205 百万円増加し、有価証券が満期償還により 710 百万円の減少となりました。また、投資その他の資産では、供託方法の変更により投資有価証券が 378 百万円増加しています。

流動負債では、法人税等の前期分納付及び中間納付額の計上により未払法人税等が 225 百万円減少いたしました。純資産は、利益剰余金の増加 127 百万円、その他有価証券評価差額金の減少 24 百万円により、前連結会計年度末と比較して 152 百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況は、営業活動により得られた資金は 159 百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益 427 百万円、減価償却費 246 百万円及び保険解約損 20 百万円が計上された一方で、仕入債務、前払式特定取引前受金の減少及び法人税等の支払 383 百万円が生じたことによるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは 164 百万円の獲得となりました。これは、主に有価証券・投資有価証券の取得による支出 2,334 百万円、有形固定資産の取得による支出 190 百万円及び有価証券・投資有価証券の償還による収入 2,699 百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは 114 百万円の流出となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

これにより、当第２四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 209 百万円増加し 3,152 百万円となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、引き続き葬祭事業において小規模の葬儀にも対応できるよう家族葬専用フロアを設けるなど施設の一層の充実に努めてまいります。また、前連結会計年度にオープンした新葬祭店舗３店が通年稼動するのに加え、平成 21 年 10 月には新葬祭店舗「湘和礼殯館真土」(神奈川県平塚市)をオープンし、施行件数の拡大を図ってまいります。

しかしながら当社が属する業界におきましては、業界内の価格競争は激化しており、消費者の高齢化の進む中で、社会的な交際範囲の縮小と伝統的な葬儀式に対する社会意識の変化による会葬者数減少、さらには経済情勢悪化の影響もあり、先行き不透明感が増しています。

平成 22 年３月期通期の連結業績見通しにつきましては以上の経済情勢、業界環境ではありますが、当社の施策を踏まえ平成 21 年５月 11 日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手しています情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,347,548	3,141,576
売掛金	190,874	184,599
有価証券	4,205,937	4,916,373
商品及び製品	56,780	57,422
原材料及び貯蔵品	76,208	68,751
繰延税金資産	75,863	90,238
供託金	45,100	45,000
その他	171,922	105,143
貸倒引当金	△677	△569
流動資産合計	8,169,558	8,608,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,607,889	4,734,974
機械装置及び運搬具（純額）	59,256	66,277
工具、器具及び備品（純額）	170,446	166,044
土地	6,824,636	6,824,636
その他	100,048	18,567
有形固定資産合計	11,762,277	11,810,500
無形固定資産	32,820	35,703
投資その他の資産		
投資有価証券	4,443,045	4,064,541
長期貸付金	49,790	49,790
長期預金	600,000	600,000
繰延税金資産	375,214	402,458
その他	1,652,652	1,662,043
貸倒引当金	△10,290	△10,290
投資その他の資産合計	7,110,412	6,768,542
固定資産合計	18,905,510	18,614,747
資産合計	27,075,068	27,223,282

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	187,839	209,517
未払法人税等	138,257	363,847
掛金解約手数料戻し損失引当金	20,195	23,067
その他	566,081	575,901
流動負債合計	912,374	1,172,334
固定負債		
繰延税金負債	55,774	55,232
退職給付引当金	36,417	30,913
役員退職慰労引当金	125,777	129,617
前払式特定取引前受金	15,286,134	15,328,162
その他	30,936	31,684
固定負債合計	15,535,040	15,575,610
負債合計	16,447,415	16,747,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	7,241,316	7,113,794
自己株式	△180,739	△180,739
株主資本合計	10,684,488	10,556,967
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△56,834	△81,629
評価・換算差額等合計	△56,834	△81,629
純資産合計	10,627,653	10,475,337
負債純資産合計	27,075,068	27,223,282

(2)【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年4月1日 至　平成20年9月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年4月1日 至　平成21年9月30日）
売上高	4,259,075	3,989,942
売上原価	3,164,524	3,047,916
売上総利益	1,094,551	942,025
販売費及び一般管理費	621,360	564,799
営業利益	473,190	377,226
営業外収益		
受取利息	47,140	35,030
受取配当金	859	1,006
掛金解約手数料	25,468	24,427
掛金解約手数料戻し損失引当金戻入益	542	－
その他	32,361	30,910
営業外収益合計	106,372	91,373
営業外費用		
供託委託手数料	6,801	2,957
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	－	205
保険解約損	－	20,813
その他	2,233	1,731
営業外費用合計	9,035	25,706
経常利益	570,528	442,893
特別利益		
固定資産売却益	4	－
特別利益合計	4	－
特別損失		
固定資産除売却損	9,317	15,170
特別損失合計	9,317	15,170
税金等調整前四半期純利益	561,215	427,723
法人税、住民税及び事業税	221,138	160,586
法人税等調整額	27,868	25,072
法人税等合計	249,007	185,658
四半期純利益	312,208	242,064

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	561,215	427,723
減価償却費	239,320	246,190
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額（△は減少）	△3,896	△2,871
貸倒引当金の増減額（△は減少）	126	108
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,424	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,175	5,504
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△495	△3,840
受取利息及び受取配当金	△47,999	△36,036
保険解約損益（△は益）	－	20,813
有形固定資産除売却損益（△は益）	9,312	15,170
売上債権の増減額（△は増加）	△10,469	△6,275
たな卸資産の増減額（△は増加）	15,817	△6,815
仕入債務の増減額（△は減少）	△62,275	△21,678
前払式特定取引前受金の増減額（△は減少）	△24,662	△42,027
その他	△74,260	△93,267
小計	597,485	502,696
利息及び配当金の受取額	41,762	40,173
法人税等の支払額	△479,928	△383,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,319	159,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△109,490	△109,490
定期預金の払戻による収入	1,512,600	112,600
有価証券の増減額（△は増加）	10	499,821
有形固定資産の取得による支出	△267,868	△190,288
有形固定資産の売却による収入	321	33
無形固定資産の取得による支出	－	△1,743
投資有価証券の取得による支出	△4,557,812	△2,334,538
投資有価証券の償還による収入	2,835,000	2,200,000
供託金の預入による支出	△75,000	△100
供託金の払戻による収入	80,000	－
その他の支出	△71,906	△50,750
その他の収入	14,930	38,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	△639,214	164,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△115,918	△114,347
自己株式の取得による支出	△21,740	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,659	△114,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△617,554	209,082
現金及び現金同等物の期首残高	3,315,595	2,943,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,698,040	3,152,658

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成 21 年４月１日　至　平成 21 年９月 30 日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自 平成 20 年 4 月 1 日　至 平成 20 年 9 月 30 日）

	冠婚事業（千円）	葬祭事業（千円）	互助会事業（千円）	その他の事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
Ⅰ　売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	397,637	3,432,726	5,371	423,340	4,259,075	－	4,259,075
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	129,945	－	129,945	(129,945)	－
計	397,637	3,432,726	135,317	423,340	4,389,021	(129,945)	4,259,075
営業利益（又は営業損失）	24,592	836,247	52,554	△1,805	911,589	(438,398)	473,190

当第２四半期連結累計期間（自 平成 21 年 4 月 1 日　至 平成 21 年 9 月 30 日）

	冠婚事業（千円）	葬祭事業（千円）	互助会事業（千円）	介護事業（千円）	その他の事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
Ⅰ　売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	329,332	3,227,540	3,432	428,212	1,425	3,989,942	－	3,989,942
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	121,155	－	－	121,155	(121,155)	－
計	329,332	3,227,540	124,588	428,212	1,425	4,111,098	(121,155)	3,989,942
営業利益(又は営業損失)	23,450	699,091	44,718	29,882	△3,911	793,231	(416,004)	377,226

（注）事業区分の変更

従来、「介護事業」は「その他の事業」に含めておりましたが、全セグメントの売上高の合計に占める割合が 10%以上となったため、当第１四半期連結累計期間より区分表示することに変更しました。この結果、従来の方法と比較して、前第 2 四半期連結累計期間における「その他事業」の売上高は、421,391 千円減少し、営業利益（又は営業損失）は、907 千円減少しており、「介護事業」については、それぞれ同額増加いたします。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成 21 年４月１日　至　平成 21 年９月 30 日）

該当事項はありません。